



後記文書

実用新案登録(A)

昭和49年3月2日

(1,500円)

特許庁長官 三宅 幸夫 殿

1. 考案の名称

カセット

2. 考案者

東京都八王子市大和田町2315

中村商店

(外名)

3. 実用新案登録出願人

東京都渋谷区神宮前2丁目4-3番2号

(037)オリソルバス光学工業株式会社

代表者 神野 健

4.添付書類の目録

1. 明細書	/	通
2. 図面	/	通
3. 説明書原本	/	通

15-02701

明細書

1. 考案の名称

カセット

2. 實用新案登録請求の範囲

カセットの外表面上に導電体を離脱可能に設けたことを特徴とするテーブレコーダカセット。

3. 考案の詳細な説明

本考案は、テーブレコーダ用のカセットに検出用導電体を離脱可能に設けた装置に関する。

昨今のテーブレコーダは、テープのあるいはヘッドの性能向上、またはテーブレコーダの使用方法の開拓等々により操作時はあらゆる注意をする必要が生じてきた。例えばクロムテープを使用するとき従来のマグネットイト(Fe₃O₄)、あるいはガンマー・ヘキタイト(Fe₆O₅)用のヘッドで録音を行うとヘッドは損傷してしまうという欠点が生じる。そして従来のテーブレコーダでカセット上に設けられた信号により警告を行うものとしては

ユキモ

誤消去の防止装置が行われているだけで他は操作者が注意をし切換あるいは交換をするのが通常であつた。何故ならばカセットは樹脂で成形されているので種々の信号をカセット上に設けることは困難でありまたコストも高くなるのでユーザーに提供することができなかつた。

本考案はカセットの外表面に導電体を離脱可能に設け種々の信号線としテープレコーダの操作を自動的に行わせるようにしたカセットを提供することにある。

以下、誤消去防止装置を例とした本考案を説明する。

図1はテープレコーダ本体(図示省略)にカセットを押着した状態を示すものでその側面に導電片2, 3が貼着され、カセット1のA面の消去を防止する導電片は符号2で検出し、B面は導電片3をもつて信号線としている。符号4は検出装置を示すものでばね5によりカセット1側に運動習性がある運動板6上に絶縁片7を介して接触片8が、絶縁片9を介して接触片10が設けられ。

1.4115

1.4116

各々の接触片⁸。10は上記導電片²に当接する位置に配置されている。上記接触片⁸は電池¹¹の正極に、接触片¹⁰はソレノイド¹²を介し電池¹¹の負極に接続されている。そして上記ソレノイド¹²の可動鉄片¹³の先端に阻止片¹⁴が消去用レバー¹⁵の運動範囲内に突出するよう設け^る。この構成に於て録音済のテープの消去を防止するときは図に示すようにカセット¹に導電片²を貼着しテープレコーダに押着すると接触片⁸。10は導電片²を介し構造しソレノイド¹²が作動し阻止片¹⁴は突出し図の位置にくるので消去用レバー¹⁵を押圧することが可能となり消去用ヘッドはテープに接する事がないので録音されたテープを消去する事がない。そしてテープに録音を必要とするときは導電片²を剥離し、カセット¹を押着するので接触片⁸。10は構造しないからソレノイド¹²は作動せず阻止部材¹⁴が消去用レバー¹⁵の運動範囲内に飛び出しがなく録音を可能とする。

第二図は消去を防止するフイン¹⁶を有するカ

セントノをテープレコーダに挿着した状態を示すもので、符号ノフの検出装置をもつてフインノ6を検出している。この検出装置ノフはばね2によりカセットノ側に摺動習性がある第ノ摺動板ノ8面上に第2摺動板ノ9をばね20によりカセットノ側に摺動習性をもつよう設けられ各々の摺動板ノ9を介して接触片ノ10が固定され。ノ10の一端部に絶縁片ノ11が固定され。9付近

一方の接触片ノ10がファイルノ6に当接するようになつていて、さらに第ノ摺動板ノ8の他端部に折曲部ノ12が形成され消去用レバーノ13の摺動範囲内に出入り可能に成されている。上記接触片ノ10はソレノイドノコを介し電池ノ14の正極に接続され。

接触片ノ10は負極に接続されている。

このような構成に於て録音側のテープの消去を防止するときはカセットノのフインノ6を折りテープレコーダに挿着すると接触片ノ10は、フインノ6を折った後の孔に入り込み第ノ摺動板ノ8の折曲部ノ12が図に示す破線の位置まで移動し消去用レバーノ13の押圧を不可能となり消去用ヘッドノ15

はテープに接することができないので録音されたテープを消去することができない。

さらにこの装置によると消去を防止するフイン付のカセットを使用しない第1図の如きカセットを使用するテープレコーダによるときはフイン／6上に図に示す導電片3を貼着すると接觸片5、10は接続しソレノイド12が作動し阻止部材14は消去用レバー15の措置範囲内に飛出し上記と同様に消去を防止することができる。さらに図示はしていないがフイン／6を有するカセットを使用するテープレコーダーで被出装置17を使用する方法として、フイン／6を折つた後の孔に両接觸片が挿入されても同様に消去を防止することができる。

第2図を利用し他の実施例はこれまでの磁化録音テープの抗磁力が3000e 製後であったのに對し、クロムテープは約1.5倍以上で、この為に高域特性の改善は10KHz. で4dB～6dB. また同一ヘッドをつけてイコライゼーションの定数を変更するだけで高級の周波数は1.4～1.5倍に拡大

されるものである。つまり従来のテープを使用した後にクロムテープを使用するときはイコライゼーションもペイアスもセットし直さなければならない。

上記の如き不具合を解消する為にカセットノの略中央壁面上に横線で示す導電片ユウを設け上記実施例中の接触片を設け。カセットの押着により横線の有無によりイコライゼーション又はペイアスの切換を行うようにしたものである。

以上のように本考案はカセット上に導電片を貼着することによりあらゆる信号源として利用できるものである。またこの導電片をあらかじめカセット上にプリントしても同様の効果が得られるし、カセット上の商品名、あるいは製造会社等のプレートを導電体として利用することもできる。

4. 図面の簡単な説明

第1図は本考案のカセットを利用した誤消去防止装置の斜面図、第2図は他の誤消去防止装置の斜面図である。

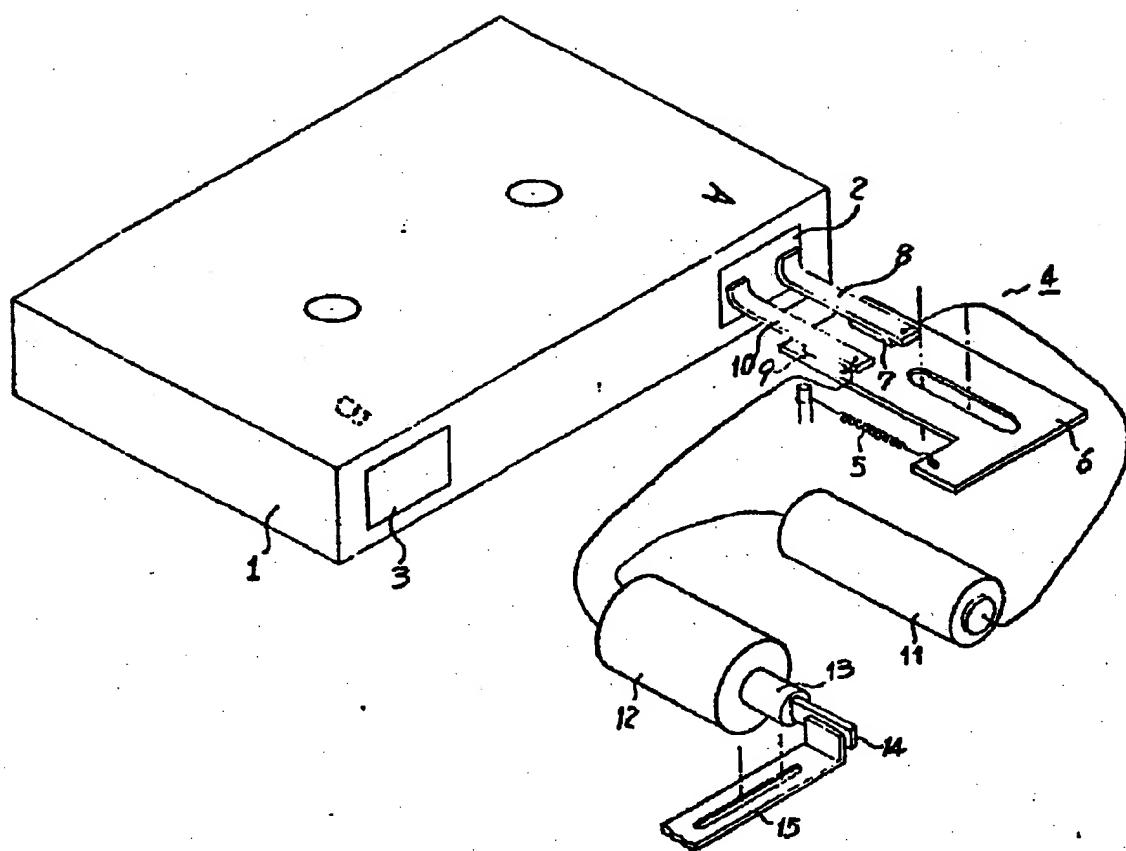
1.....カセット。2. 3. 22.....導電片

4. 17……検出装置。 5. 10……接触片。
12……ソレノイド。 15……消去用レバー

实用新案登録出願人

オリンパス光学工業株式会社

第1図

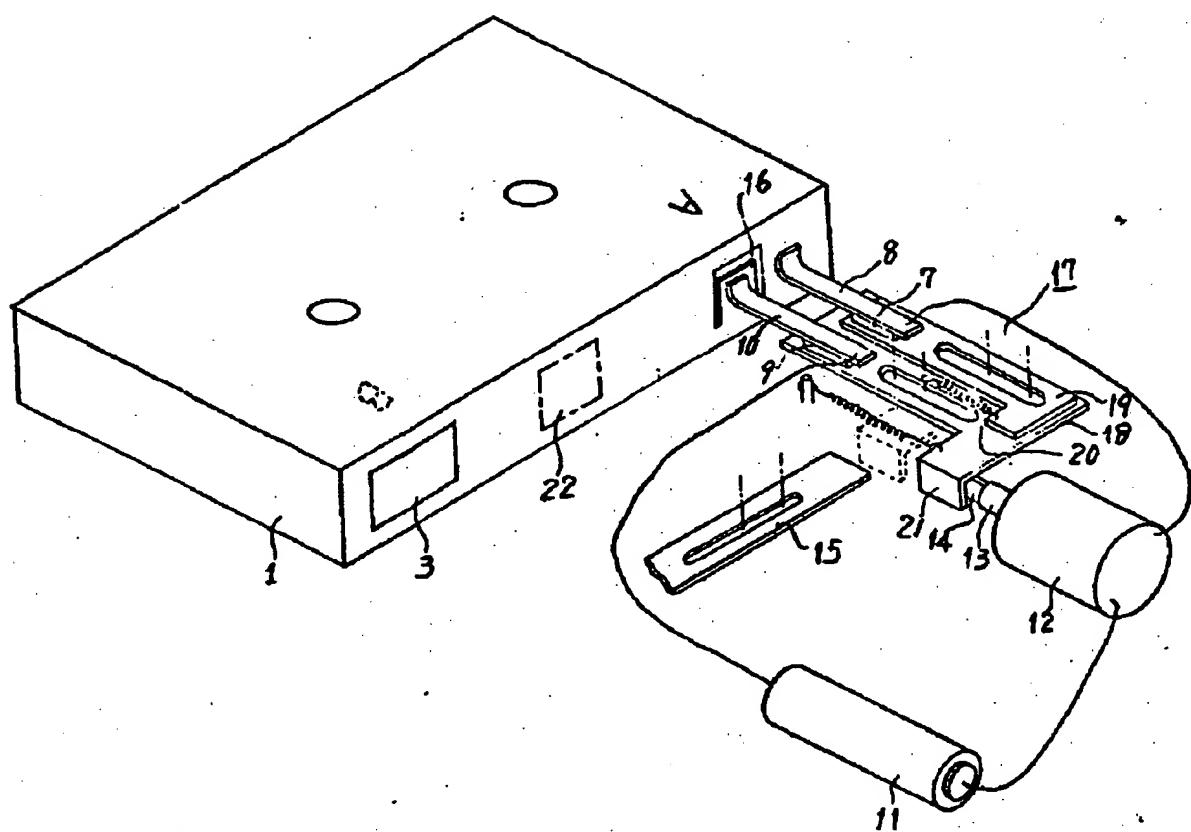


128223/4

実用新案登録出願人

オリンパス光学工業株式会社

第2圖



2 23 3/4

22 3/4

オリンパス

公開実用 昭和49- | 128223

上 前記以外の考収者

東京都武藏野市吉祥寺東町ノ-2-6

日暮繁夫

23

手 緒 補 正 書 (方式)

昭和45年 2月25日

特許庁長官 三宅幸夫殿

1 事件の表示

実用昭45-207404号

2 対象の名称

カセプト

3 補正をする者

事件との関係 実用新案登録出願人

東京都渋谷区緑ヶ谷2丁目43番2号

(037)オランバス光学工業株式会社

代表者 神谷健

4 補正命令の日付 昭和45年6月9日

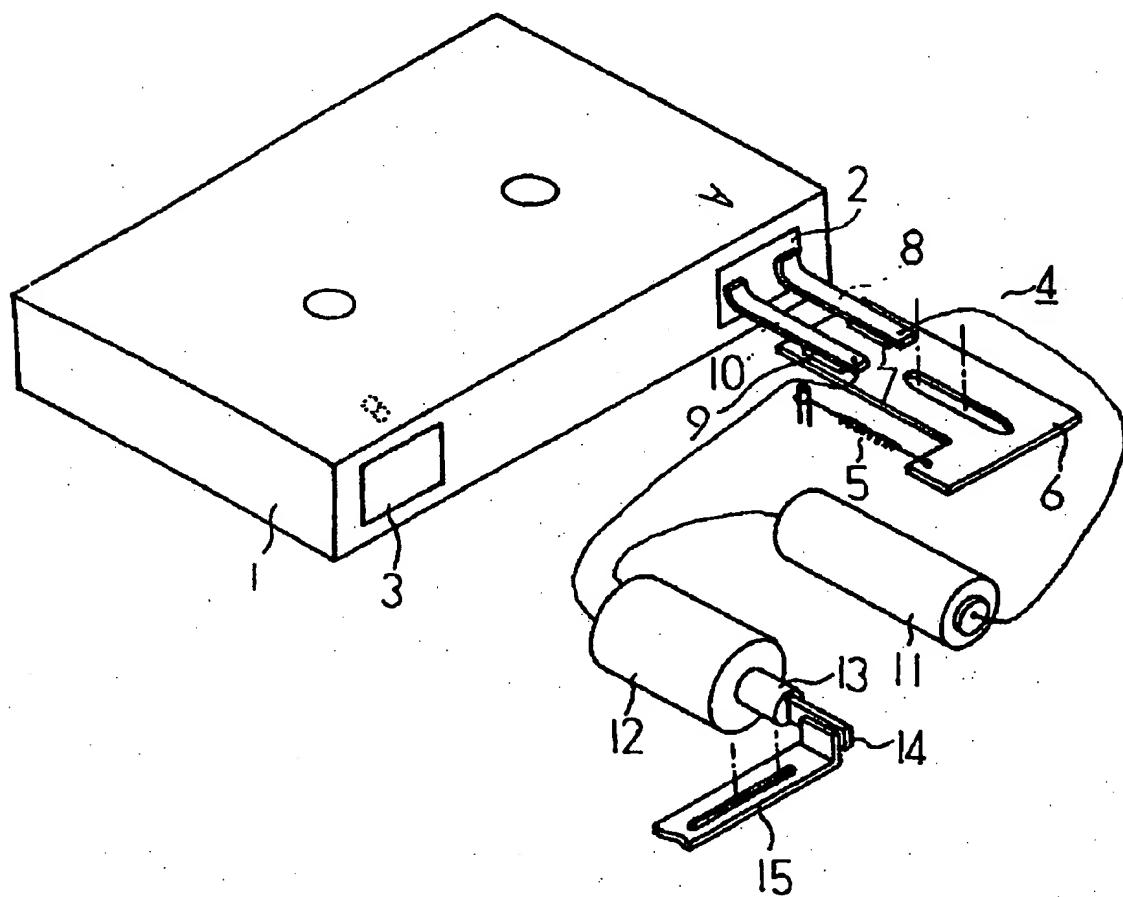
5 補正により増加する発明の数

6 補正の対象

図面

7 補正の内容 別紙の通り

第1図

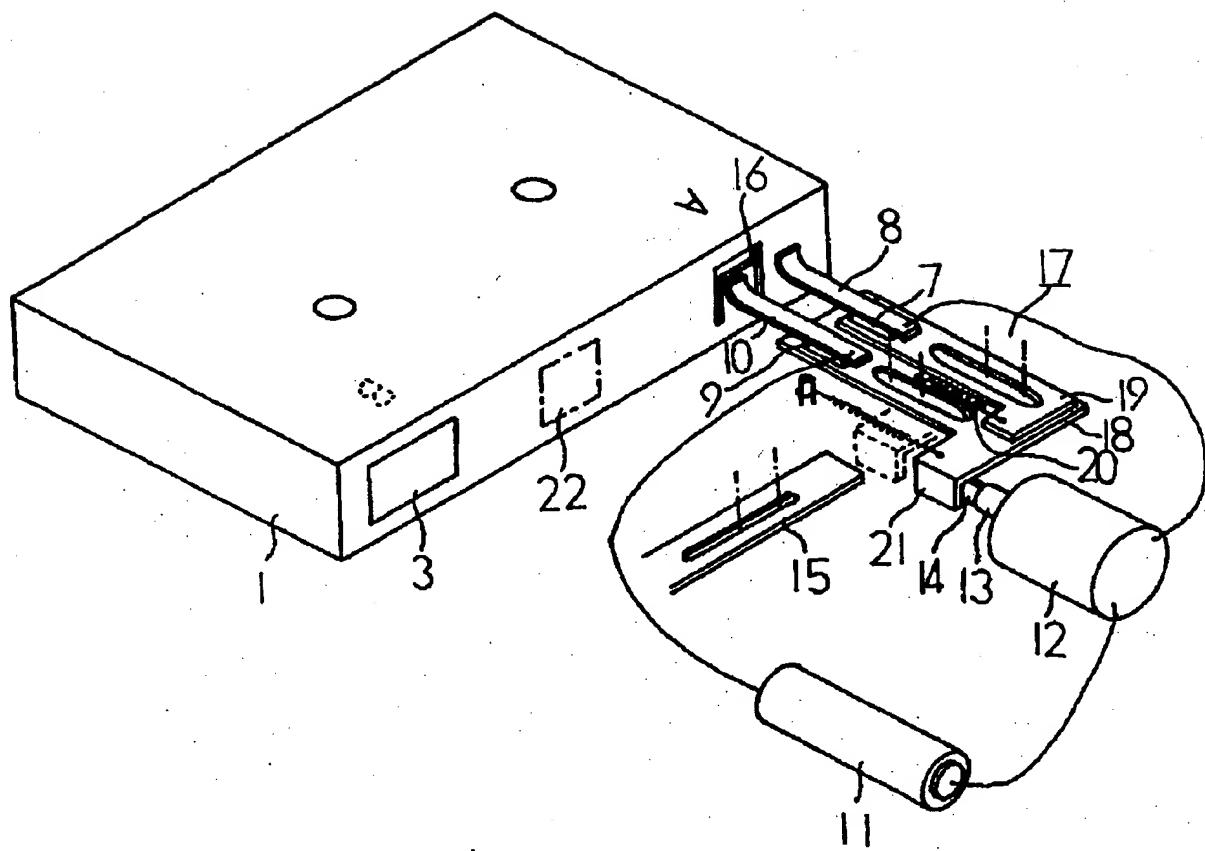


128223

実用新案登録出願人

オリンパス光学工業株式会社

第2図



12.2.23

実用新案登録出願人 オリンパス光学工業株式会社

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- BLACK BORDERS**
- IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**
- FADED TEXT OR DRAWING**
- BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING**
- SKEWED/SLANTED IMAGES**
- COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS**
- GRAY SCALE DOCUMENTS**
- LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT**
- REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY**
- OTHER:** _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.